

市立施設（公共施設）における感染防止対策の指針

令和3年7月12日

根室市新型コロナウイルス感染症対策本部

（趣 旨）

- ・ 本指針は、市立施設における新型コロナウイルスの感染を防止するため、施設管理者及び施設利用者が取り組む基本的事項をまとめたものである。
- ・ 市立施設については、感染防止対策を徹底した上で運営することとしているため、引き続き、以下の対策を講じるものとする。
- ・ この取組は、国による「緊急事態措置」「まん延防止等重点措置」のほか、北海道が発出する感染防止対策の期間に講じるとともに、本部長が感染状況等を鑑み特に必要とする場合においても、同様に感染防止対策を講じるものとする。

1 施設管理者が実施する事項

（3つの密の防止）

- ・ 「3つの密」を徹底的に避けるため、「新しい生活様式の実践」などの取組を実施及び掲示
- ・ 入口、展示施設等は、十分な間隔をとり、立ち位置を表示
- ・ 座席等がある場合は、十分な間隔を空け、対面としないよう利用^{※1}
- ・ 座席等を使用させない場所に、ソーシャルディスタンスを表示
- ・ 公園等の場合は、十分な間隔をとるなど感染予防対策等を掲示
- ・ 施設内においては、業種別のガイドラインに基づいた十分な間隔がとれる最大入場者人数とするなど、入場制限を実施 ★予め入場制限^{※2}の可能性をHP等に掲示
- ・ 外気を取り入れるため、定期的に換気を実施
- ・ 利用者が集まりそうな場所を特定し、各施設の状況に応じた分散させるための工夫を講ずる

（飛沫感染・接触感染の防止）

- ・ 施設職員に対しては、マスクの着用、手指の消毒、咳エチケット、手洗いの励行
- ・ 施設内の座席・器具など共有物は、定期的に消毒を実施
- ・ 利用者との対面する場合は、ビニールシートやアクリル板などで仕切を設置
- ・ 飲食を認める施設においては、業種別のガイドライン等に基づき、感染予防対策等を徹底するとともに、利用者に対し、黙食の取組を掲示

（施設利用者に対する対応）

- ・ 感染防止対策をHP等で周知するとともに施設入口に掲示
- ・ マスクを着用していない利用者へのマスクを用意するなど、原則、着用率の100%を担保
- ・ 入口に消毒液を設置し、利用者へ手指の消毒を要請

- ・ 非接触型体温計などにより、検温・体調管理を実施
- ・ 大声を出す者などがいた場合は、個別に注意等を実施
- ・ 利用者の氏名及び緊急連絡先については、システムの利用や名簿を作成するなど業種別のガイドライン等に基づき、適切な把握に努める
- ・ 北海道コロナ通知システムの QR コードを作成し、施設の入口に掲示
- ・ 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の登録を促進する

2 施設利用者へのお願いする事項

- ・ 発熱又は風邪の症状がある者等の入場を制限
- ・ マスクの原則着用
- ・ 入場時に手指消毒を実施
- ・ 咳エチケットや手洗いの励行
- ・ 北海道コロナ通知システムの登録
- ・ 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の登録及び利用
- ・ 飲食可能な施設においては、黙食を実践し、会話時はマスクの着用を徹底

【参考資料】

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策 内閣官房 HP（業種別のガイドライン）
- ・ 「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」～新しい生活様式の実践例（新型コロナウイルス感染症対策専門家会議）
- ・ 最新の変更による「新型コロナウイルス感染症の基本的対処方針」（令和3年7月8日変更）新型コロナウイルス感染症対策本部会議決定）

※1 やむを得ず対面する場合はアクリル板などで遮蔽すること

※2 入場制限を実施した場合は、待ち時間が長時間にならず、かつ、間隔を空けて順番待ちができるよう努める